

8-4-3 ITS 専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

専門委員会を 10 回（4, 6, 7, 8, 9（2 回）, 10, 11, 12, 1 月）開催した。専門委員会を開催しない月も E-mail を活用し、協議と情報交換を実施した（WG の月次報告、指示事項の周知・対応等）。

(2) 勉強会・活動報告会

社会的な機運が高まって来ている自動運転をテーマに、次世代モビリティ、自動運転を支えるインフラ、自動運転の実現に向けた課題等の観点から、有識者 2 名（筑波大学システム情報系社会工学科 石田教授、先進モビリティ株式会社 青木社長）をお招きし、自動運転に関わる最新動向についてのご講演を頂くと共に、協会会員企業からの参加者を交えたディスカッションを実施した。

(3) WG 活動

a) 大規模災害発生時の帰宅困難者支援のための ITS の可能性検討

地震発生直後の無理な帰宅の抑制、または帰宅行動時の支援について、ITS 技術の活用による帰宅困難者の支援の可能性について、昨年度に引き続き研究した。

- ・ 近年の大地震発生時の帰宅困難者の発生状況、IoT の活用状況の調査
- ・ 帰宅困難者に関する調査、研究事例の整理
- ・ 今後取り組むべき研究領域の整理

b) ビッグデータの活用可能性検討

近年各所で取得・蓄積並びに活用が進んでいるビッグデータについて、主に交通分野に関する現状を昨年度に引き続き調査し、建設コンサルタントのビッグデータの活用実態や活用時課題を調査、整理した。

- ・ 自動車交通に関するビッグデータの種類と活用事例の整理
- ・ 建設コンサルタントのビッグデータの活用実態、活用時の課題の整理

c) ITS を活用した次世代モビリティに関わる調査

慢性的渋滞が発生している都市部での輸送効率を高める新たな交通手段、離島や周遊観光での移動手段等として、エコでコンパクトな次世代のモビリティが期待されている。次世代モビリティの種類、導入事例、法的な位置づけ等を現地調査も含めて調査し、今後の情報通信技術の利活用や展開に向けた課題を整理した。

- ・ 超小型モビリティ・第一種原付（四輪）の調査、整理
- ・ 搭乗型移動支援ロボットの調査、整理
- ・ 自転車に関わる最新動向の調査、整理
- ・ 次世代モビリティに関する今後の展開に向けた課題整理

2. 次年度の活動について

以下の活動を実施する。

- ・ WG の定例的活動
- ・ ITS 専門委員会が対応すべき分野横断的な諸テーマの検討
- ・ 技術委員会からの指示事項の検討
- ・ 勉強会・講演会の開催

（ITS 専門委員会委員長 松本 章宏）